



いよいよ最高学年へと近づいてきて、自分の進路に関して本気で向き合わなければならない時期になってきました。3月は、15日の進路LHR、16日のビジネススタディクラス&先輩と語る会+3年担任の先生の講話、22日の進路説明会&マナー講座と3つの進路行事が続きました。すべて就職・進学希望別に分かれてのプログラムだったこともあり、卒業後の自分をより具体的にイメージでき、意欲が高まったのではないかと思います。この体験を、皆さん一人一人の進路実現に役立てていきましょう。

## ビジネススタディクラス



湖南市市長様をはじめ、ロータリークラブの方や、地元企業の社長の方々、すでに社会人として活躍されている本校の卒業生の先輩方と、「社会に出ることで得られるもの(事)とは?」というテーマで8つのグループに分かれてワークショップが行われました。少し緊張した様子も見受けられましたが、どのグループも熱心に話を聞き、意見交換ができていたと思います。

★グループワークを終えてのアンケート質問「あなたはどんな社会人になりたいですか」に対する回答

周りの人が“この人と仕事がしたいな”“仕事を頼めるな”“一緒に仕事をしていて気持ちがいいな”と思われるような社会人になりたい。

辛いことやしんどいことや失敗もあるかもしれないが、あきらめずにちゃんと仕事を続けられる社会人。

★「3年担任の先生の講話」感想

「高校生活で頑張ったことは何ですか」と聞かれてパッと頭に思い浮かばなかったのは、ちょっと危ないと思いました。就職試験までに何か1つでも自信を持って「これを頑張りました」と言えることを見つけた。

“三日坊主なら三日続けたらいい。それを積み重ねていけばいい”という部分が印象に残った。自分も続けられないタイプなので小さな目標を多くこなすことができるようになりたいと思った。

## 先輩と語る会

現在大学や専門学校に通っている石部高校の卒業生の方々と今年卒業した先輩方、またロータリークラブの方を各グループに迎え、進学先で何を学べるか、受験のアドバイス、学費のこと、自分が高校生の時頑張った事、などさまざまなお話をいただき、意見交換をしました。

(裏面に続きます)



★「先輩と語る会」感想

やっぱり面接や作文などの練習は前もってやっておくべきと思いました。  
お金もちゃんと準備しておこうと思いました。

進学の話だけでなく、仕事をどうやって続けていくか、どうやったら結婚したりしても辞めないでいられるか、仕事に戻れるかなど、人生のことを語ってもらえてとても参考になった。

★「3年担任の先生の講話」感想

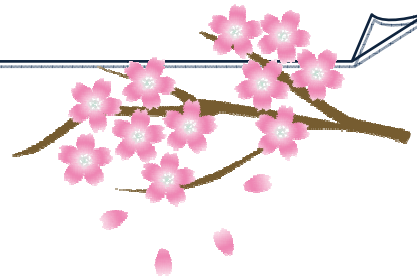
先生は、自分の進路についてすべて知っているわけではないから、自分で行きたい大学について調べておく必要があるし、分からないことがあればその大学の資料を持ってできるだけ早く相談しに行くことが大切だと講話から学びました。

## 「後輩へのアドバイス」を読んで・・・

3月15日の進路LHRでは、「後輩へのアドバイス」を読みました。これは、今年の春卒業した3年生の先輩方が、1・2年生に書いてくれたメッセージ集です。進学・就職の実現に向けて何をどれだけ努力してきたか、良かった事や後悔した事、日頃の高校生活の過ごし方などについて、たくさんのヒントをもらうことができたのではないのでしょうか。2年生の感想をいくつか紹介します。

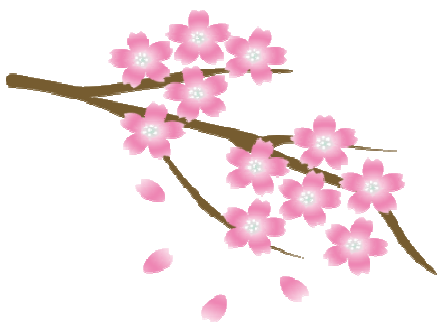
入試方法はたくさんあり、それぞれの先輩方が全員違う方法で入学されていると知ったけど、全員頑張っていることが分かりました。私は今まで周りの人より頑張っているから大丈夫だと思っていましたが、周りだけではなく、他校からも私の志望校を受ける人がいるのでまだ今以上にがんばらないといけないと思いました。そのためにはまず時間の使い方を見直すところから始めたいと思います。先輩方のように私も粘り強く頑張って合格して夢に近づきたいです。

同じ学校で同じ授業を受けてきた先輩方のアドバイスなのでごくためになることが多かった。後悔していることも書いてあって、自分がこれから3年生として生活していく中で何をしておけばいいかを考えることができた。進路によって自分の人生が変わることを自覚して頑張っていきたい。



最初は皆、上手く行かなくて当たり前だから、何事にもあきらめずに取り組むことが大切だと分かった。早いうちから勉強、面接、小論文をやっておかなければ後々後悔するのは自分だから小さなことでくじけずに頑張らないといけないと思いました。

まずは挨拶や敬語などの基本的なことからしっかりしていこうと思いました。そしてどんなことでも積極的に取り組んで熱中する何かを決めて、もっと努力していこうと思いました。



自分の進路はしっかりと考えてから決めようと思った。面接の練習もして、本番にそなえようと実感した。もし合格したとしても、まだ合格していない人もいるだろうから、うかれないうちまで通りにしようと思った。生活面ももう一度見直したほうがいいなと改めて感じた。